

会 議 事 録

1 会議名	平成29年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会	
2 開催日時	平成29年7月18日（火）午後1時30分から午後3時まで	
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟3階 301会議室	
4 出席者名	（委員）中村委員長 山崎委員 草間委員 高橋委員 （事務局）長岡市地方創生推進部 渡邊部長 長岡市政策企画課 茂田井課長 長岡市政策企画課 鈴木課長補佐 長岡市政策企画課 林係長 長岡市政策企画課 渡辺主任	
5 欠席者名	槇委員	
6 議事	平成28年度 業務実績に関する評価書（案）について	
7 審議結果の概要	「公立大学法人長岡造形大学 平成28年度業務実績に関する評価書（事務局案）」について、委員からの意見を踏まえ、一部修正することとなった。	
8 審議の内容		
事務局・政策企画課課長補佐	ただいまから、平成29年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。 はじめに、渡邊地方創生推進部長からごあいさつ申し上げます。	

事務局・地方創生 推進部長	(地方創生推進部長あいさつ)
事務局・政策企画 課課長補佐	<p>本日、4名の委員からご出席いただいておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定により、会議が成立していることをご報告させていただきます。</p>
委員長	<p>それでは、これより議事に入ります。議事の進行は中村委員長にお願いしたいと思います。中村委員長お願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p>
委員長	<p>議事に入る前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めさせていただきます。草間委員と高橋委員にお願いしたいと思います。草間委員と高橋委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
	<p>(草間委員、高橋委員から了解の発言)</p>
委員長	<p>それでは、議事を進めてまいります。</p>
委員長	<p>前回の評価委員会では、大学側の自己評価について、大学の説明を聞き、各委員からご意見をいただきました。</p>
委員長	<p>本日の委員会は、前回の委員会の内容を踏まえた事務局案について審議を行い、委員会の意見をまとめていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、議事の「平成28年度業務実績に関する評価書（案）について」、事務局から説明していただきます。よろしく申し上げます。</p>
事務局・政策企画 課長	(資料に基づき説明)
委員長	<p>ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ただいま、事務局から説明していただきました。 委員の皆様からご質問等ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>平成28年度は、志願倍率が6倍という素晴らしい実績を残していますが、今後も、目標値である志願倍率3倍を維持できるように努力し</p>

委員	<p>てもらいたいと思います。</p> <p>公立化後の長岡造形大学は頑張っているという声をよく耳にするようになりました。</p> <p>しかし、本当の意味での評価というのは、公立化後に入学した学生が、社会に出て、活躍することで初めて得られると思います。ぜひ今後の活躍にも期待したいと思います。</p>
委員	<p>インターンシップの取り組みはとても有意義で、企業と大学をマッチングさせることは重要なことだと思っています。加えて、インターンシップを行った企業が学生に対して評価を行い、学生に伝えることが大事だと思いますが、インターンシップ先企業の評価結果というのは出ているかわかりますか。</p>
事務局・政策企画課長	<p>インターンシップにおける評価結果については、手元の資料では確認ができませんので、第3回評価委員会で長岡造形大学から説明していただきます。</p>
委員	<p>わかりました。</p> <p>インターンシップにおいて、言葉遣いや、服装、コミュニケーション能力など、社会生活に必要なことをインターンシップ先企業が評価して、学生に伝えることが大切ではないかと思います。もし、評価結果がないのであれば、作ってほしいと思います。</p>
委員長	<p>長岡技術科学大学では、インターンシップは、社会や企業がどういったところかを体験してみる場と捉えています。インターンシップを経験することで、自分が学びたいと思うものを見つけってきます。大学院に進む学生も多いですから、大学院で何を研究するかを定める時にもインターンシップの経験が生きています。長岡造形大学でもインターンシップをうまく生かしていただきたいと思います。</p> <p>次に、大項目別評価についてですが、「事業単位評価」と「指標単位評価」で評定を算出することになっています。「指標単位評価」は客観的に捉えられますから、評価がわかりやすいと思います。そのため、客観的な評価である「指標単位評価」が全て a 評価になっているということは、大項目別評価を判断するうえで考慮すべきことだと思います。</p>

	<p>す。</p> <p>それから、平成28年度は志願倍率が6倍という素晴らしい実績ができました。また、就職率を見ますと、就職を希望している学生のうち、就職した人の割合が、昨年は94.4%、今年は93.3%でした。93%を超えているというのは、かなり高い数字だと思いますので、今後は、就職率についてもアピールしてもらえればと思います。</p> <p>もう一つ、国際交流に関してですが、今後は、先生同士が行き来することに加えて、学生同士が双方向で交流するような取り組みにも期待したいと思います。</p>
委員	<p>情報公開の推進に関してですが、今後も県外高校出身者を含め、高い志願倍率を維持していくためには、情報公開を積極的に行っていく必要があると思います。また、学生の就職を後押しするためにも企業に対して、情報公開を通じてアピールしていくことが必要だと思います。</p>
委員	<p>地域貢献に関してですが、例えば、長岡造形大学は「ヤングアート長岡」の活動に取り組んでいますが、イベント自体が、まだまだ認知されていないと感じています。大学と地域社会が連携して取り組んでいる活動が、もう少し地元根付いた活動になっていくと、学生も張り合いを持って取り組めるようになるのではないかと期待しています。</p>
委員	<p>19ページにマナー講座の項目が出ていますが、詳しい内容が知りたいので、次回の評価委員会で教えていただきたいと思います。</p>
事務局・政策企画課長	<p>次回、インターンシップの評価結果と併せて、長岡造形大学から説明してもらいたいと思います。</p>
委員長	<p>ほかに委員からご意見等はありませんでしょうか。</p>
各委員	<p>(委員意見なし)</p>
委員長	<p>それでは、事務局は本日各委員から出された意見を評価書案に反映</p>

<p>事務局・政策企画課課長補佐</p> <p>事務局・政策企画課長</p> <p>事務局・政策企画課課長補佐</p>	<p>していただきたいと思います。その後、評価書案を大学側に通知してください。</p> <p>それでは、これにて議事を終了いたします。進行を事務局にお返しします。</p> <p>中村委員長ありがとうございました。それでは次第の4その他について、事務局からご連絡いたします。</p> <p>(次回会議日程について説明)</p> <p>これにて「平成29年度第2回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。ありがとうございました。</p>
<p>9 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 次第・出席者名簿 ○ 資料「公立大学法人長岡造形大学 平成28年度 業務実績に関する評価書（事務局案）」 ○ 資料「評価書（事務局案）の補足説明」 	